

花火台風に揺れ

「逆走台風」と言われた
台風12号は7月29日未明、
三重県に上陸、本県や西日
本各地に被害をもたらした。
日本列島に上陸した台
風が東から西に進むのは台
風観測史上初めてという
ある。

長年暮らしていると、誰
にも忘れられない自然災害
との思い出が一つや二つは
ある。
逆走台風は、野外イベン
トを直撃した。中でも7月
28日予定の安倍川花火大会
(静岡市)と、28、29両日
予定の狩野川花火大会(沼



夏祭りに金魚すくい＝沼津市、全日写連・神尾一さん撮影

津市)は、ともに60年以上
多くの地域住民に親しまれ
てきた大きな夏まつりであ
る。その中止や延期は、逆
走台風の名とともに多くの
人の記憶に残るだろう。
約60万人が県都の夜空を
見上げる安倍川花火大会は
1953(昭和28)年、終
戦直前の「静岡大空襲」で
焼死したとされる約2千人
の慰霊のため始まった。

私は静岡大空襲の記憶は
ないが、安倍川には災害が
らみの思い出がある。66
(昭和41)年9月、御前崎
付近に上陸した台風26号で
安倍川上流の梅ヶ島温泉は
土石流に襲われ、宿泊客ら
26人が犠牲になった。当
時、朝日新聞記者として静
岡支局に勤務していた私は
土砂崩れで寸断された山道
を踏破して現場にたどり着
き、ルポと写真を翌日の朝
刊で報じた。

あれから52年になるが、
私は安倍川花火を見上げる
たびに、あの日土石流にの
まれた温泉客らの冥福を祈
っている。

延期された狩野川花火大
会は7月30、31両日、県東
部の夜空に大輪を咲かせた。
安倍川花火大会は、夏
の実施を初めて断念した。
花火大会は夏を代表する
風物詩だが、各地には小さ
な祭りやイベントもたくさん
ある。夜店の金魚すくい
や、庭先で楽しむ線香花火
などの「小さな夏」にも、
人それぞれに思い出はあ
る。

(前静岡県監査委員・
富永久雄)